

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成26年2月13日(2014.2.13)

【公開番号】特開2012-140198(P2012-140198A)

【公開日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-029

【出願番号】特願2010-292933(P2010-292933)

【国際特許分類】

B 6 5 H 1/04 (2006.01)

B 6 5 H 1/12 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 1/04 3 2 4

B 6 5 H 1/12 3 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月24日(2013.12.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

画像形成装置では、記録媒体を1枚ずつ分離して給紙するための給紙装置を備えている。このような給紙装置には、給紙時の記録媒体幅方向の位置を規制するために、給紙手段の上流に記録媒体の幅規制手段を設けたものがある。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、以上の点に鑑みてなされたものであり、幅規制手段がどの位置に操作されても、常に同様の力でラックを押圧することで、ラックとピニオン間のガタ無しで噛合う事ができる給紙装置を提供することを目的とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録媒体を給紙する給紙装置であって、

前記記録媒体の給紙方向と直交する方向にスライド可能であって、前記記録媒体を前記給紙方向と直交する方向に規制する幅規制手段と、

前記幅規制手段を支持する支持部材と、

前記幅規制手段それぞれに連結されたラックと、

前記ラックの間に回転可能に設けられ、前記ラックと噛合うピニオンと、

前記ラックそれぞれを前記ピニオンの軸方向に付勢する付勢手段と、

前記ラックをガイドするガイド部と、

を備え、

前記付勢手段による付勢力を前記ガイド部により、前記ラックがそれぞれ前記ピニオンに近接するように作用する力に変換することを特徴とする給紙装置。

【請求項 2】

前記ラックは、一対のラックであり、前記ガイドは、一対のガイドであり、前記幅規制手段は、一対の幅規制手段であることを特徴とする請求項 1 に記載の給紙装置。

【請求項 3】

前記ガイド部は、前記支持部材に一体に構成されていることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の給紙装置。

【請求項 4】

前記ピニオンは当接部を有し、前記付勢手段は前記当接部を介して前記付勢力を前記ラックに伝達することを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の給紙装置。

【請求項 5】

前記給紙装置は、記録媒体を給送する給紙ローラを更に備え、

前記支持部材が上昇することにより、記録媒体が前記給紙ローラに当接して給紙が開始されることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の給紙装置。

【請求項 6】

請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載の給紙装置を有する記録装置。